

ねりま父母連 2022年度定期総会 議案書 2022年9月4日

練馬父母連（練馬区保育園父母連合会）は、保育園児と保護者の声や願いの実現を目指して活動を続けてきました。新型コロナ感染症の拡大が2020年以來続く中、各園の父母会の行事開催や保護者間の交流活動も困難な状況が続いています。そうした中での父母連の活動を振り返りつつ、今後の活動方向を提案します。

1、これまでの活動を振り返って

①コロナ禍にあっても子どもたちが楽しい園生活を過ごせるように援助した

コロナ禍で、保育園の父母会活動も困難が続いています。そうした中にあっても、園児が少しでも楽しい園生活を送れるようにと、多くの父母会が工夫し、努力しました。

②各園の枠を越え、保護者の共通する願いや声を掲げ、その実現をめざした

個別の園の枠を越えて、保護者の共通する願いや声を掲げてそれを実現する活動を、コロナ感染症対策を中心に父母連として取り組んできました。

③谷原保育園の閉園計画に反対し、計画の中止・撤回を求めた

2021年11月に区が突然発表した谷原保育園の廃園計画は、あまりにも一方的であり、保護者の意見を聞かない暴挙といえるものです。子どもの発達保障と人権問題として、閉園計画の撤回を求めて取り組みました。

④民間委託問題や保育士の大量退職など、各園で抱える問題に取り組んだ

委託問題など、それぞれの園で抱える問題について、父母会や有志によって取り組まれました。父母連は、メールやSNS等を活用して交流をすすめましたが、感染防止の観点から対面での会議や交流会が開催できず、意見交換が十分にできませんでした。

⑤区内の保育関係諸団体との交流・連携・協力を進めた

保護者の声を行政に届ける活動をすすめるため、「公的保育を守る練馬連絡会（公保連）」、「保育問題協議会（保問協）」と、連携・協力関係を進めてきました。毎年開催している「先輩パパ・ママによる入園説明会」を保問協と共催しました。

⑥区の保育関係の所管課から保育施策に関する情報を聞き取った

日常的な情報収集と、とくに保育園のコロナ感染症対策について情報を集めました。

⑦情報発信のためにウェブサイトやメール、Twitterなどソーシャルメディアを活用した

情報交流・発信のため、主にメールやLINE、Twitterを活用しました。父母連活動の担い手が不足して、父母連ニュースの発行は1年間できませんでした。またホームページで情報を発信してきましたが、維持・運営費の問題などが検討事項になっています。

⑧親子で楽しめるイベントを開催した

2022年7月10日に「親子コンサート」を父母連主催で開催。170人が参加しました。

⑨コロナ禍で、父母会活動が困難となり、父母会の活動休止や父母連から離れる父母会も生まれています。コロナ禍での保護者間の交流と活動をどう進めるか、議論が必要です。

2、これからの父母連活動について

- ①コロナ禍のもと、園父母会が困難を抱えています。また孤立した保護者も少なくありません。園保護者の共通する願いや声を実現することを使命とする父母連として、個別の園父母会で解決困難な問題に取り組んでいきます。そのために、意見交流、情報交換のために連絡会議を開催します（オンラインを含む）。
- ②谷原保育園の廃園計画に対して保育園児を守る立場から廃園反対の声をあげていきます。
- ③民間委託保育園の問題につづき、委託園の民営化問題が浮上してきました。子どもを市場の対象にすることに反対し、「公的保育を守れ」の声を上げていきます。
- ④個別の園父母会で解決が困難な問題について、情報収集や、ほかの園父母会の力を集めるなど、協力・共同の関係を築きます。
- ⑤SNSの活用など、情報発信をすすめます。ホームページに関しては、経費の問題を含め、今後の扱いを検討します。
- ⑥父母連参加の意義を伝え、父母連への加盟と参加を推進します。
- ⑦これから保育園の入園を考えているご家庭に情報提供など協力していきます。
- ⑧保護者間の情報交換と活動推進を支えるためには父母連役員の存在が不可欠です。父母連役員の参加と協力を呼びかけます。
- ⑨父母連の財政難を打開するためのカンパをよびかけます。
- ⑩親子が参加できる企画を準備します。
- ⑪公保連、保育問題協議会など、保育関係団体との交流をすすめます。
- ⑫これまでも父母連は園児と保護者の多くの願いを実現してきました（一例を以下に紹介）。
【参考】★これまでに父母連がとりくみ、保護者の声を実現した事項。
 - ・2階施設の保育士削減計画に反対するため民放テレビに出演して、保護者の声を訴えた。
 - ・保育料の値上げ計画に陳情を提出し、値上げの減額を実現した。
 - ・東日本大震災直後に全園の耐震検査の実施、コロナ感染症対策を区に求めた。
 - ・新型コロナ感染を受け、全園に検温器を設置させた。委託園・民間保育園の保育士に奨励金の支給を実現させた。
 - ・全園に看護師と栄養士の配置を求めてきた。家庭的保育施設での給食を実現させた。☆その他、多数。
父母連は、ひきつづき園児と保護者の願いにこたえるための活動をすすめていきます。

3、2021年度決算報告、2022年度予算提案（別紙）

<付録>

- ・練馬区保育園父母連联合会会則
- ・保育園一覧マップ